

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的な知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的な知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	6/12(水), 13(木)	1. 「2日間で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	7/12(金)	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		7/26(金)	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12月予定	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	10月予定	1. 「組物」(0.5日)
		10月予定	2. 「織物」(1日)
		10月予定	3. 「編物」(1日)
		9/3(火)	4. 「不織布」(1日)
		9/27(金)	5. 「染色加工(基礎)」(1日)
		11/21(木), 22(金)	6. 「染色加工(実務と応用)」(2日)
	製 品	2月予定	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11月予定	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11月予定	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		1月予定	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3月予定	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ**入門講座「2日で学ぶせんいと布づくり」**

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として、繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方、新しく繊維業務に携わられる方などを対象に、2日間でせんいと布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては、繊維と繊維製品の製造、性能、用途について再認識していただく場になればと思います。関係各位、多数の方々のご参加をお待ちしています。

期日 2019年6月12日(水)、13日(木)

会場 大阪科学技術センタービル(大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分)

内容 予定

1日目【6月12日(水)】

- (1) テキスタイル概論 (10.00~11.00)
 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄佐千子
- (2) 繊維の材料(天然繊維と化学繊維の種類、構造と性質) (11.10~12.40)
 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 山根 秀樹
- (3) 糸(繊維原料~紡績工程) (13.40~14.50)
(株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 紡機技術第1G 尾関 正道
- (4) 糸加工(フィラメント糸の加工) (15.00~15.20)
 金沢大学 理工研究域機械工学系 教授 喜成 年泰
- (5) 織物 (15.20~16.30)
 金沢大学 理工研究域機械工学系 教授 喜成 年泰
- (6) 編物 (16.40~17.50)
 京都工芸繊維大学 繊維科学センター シニアフェロー 武内 俊次

2日目【6月13日(木)】

- (7) 染色加工 (9.30~11.00)
 椋山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
- (8) 不織布 (11.10~12.40)
 日本繊維機械学会フェロー、日本不織布協会顧問 矢井田 修
- (9) 産業資材 (13.40~14.50)
(株)クラレ 繊維カンパニー 産資用発部 繊維開発・加工グループリーダー 頼光 周平
- (10) 環境 (15.00~16.00)
 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫
- (11) 修了証贈呈式 (16.00~16.05)

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員25,000円、協賛学協会員25,000円、非会員33,000円、学生会員5,000円、学生非会員7,000円(税別)

申込 「テキスタイルカレッジ2日で学ぶせんいと布づくり」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「天然繊維の糸づくり」

紡績分野に携わっておられる方々のみならず、織編、染色加工、アパレル等の分野で、糸に関する知識を得たいと思っておられる方々には最適のカレッジです。

多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年7月12日(金) 10.00~16.55

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

10.00~11.30

(1) 天然繊維概論 (人間と繊維, 衣料用天然繊維の特徴, 性能と主な用途など)

..... 滋賀大学 教育学部 教授 與倉 弘子

12.30~14.30

(2) 糸づくり概論 (紡績糸の製造工程, 糸の種類, 構造, 番手, 撚り)

..... 倉敷紡績(株) 繊維事業部 テキスタイルイノベーションセンター技術支援グループ 主任 岡 秀則

14.45~15.45

(3) 紡績糸の製法 (打綿~巻き取り)

..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 安藤 友亮

15.55~16.55

(4) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ天然繊維の糸づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会スマートテキスタイル研究会係

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)		
副委員長	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	内丸もと子 (COLOUR BRIDGE)
	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)	梶原 幸治 (キョーワ)
	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	黄 楚 (カトーテック)	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)
	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)	竹本由美子 (武庫川女子大学)
	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)	西田 裕紀 (関西ファッション連合)
	野田 博文 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)	林 久秋 (豊田自動織機)
	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)	藤井 智成 (津田駒工業)
	堀場 洋輔 (信州大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森 洋人 (アシックス)
	森島 英暢 (倉敷紡績)	安井 章文 (東洋紡)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)
	山田由佳子 (大阪教育大学)		
アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

テキスタイルカレッジ

「化学繊維の糸づくり」

さまざまな化学繊維の製造法について、基礎から先端技術までを平易に解説する講座を開催します。本講座では、まず繊維の分類と各々の繊維の製造法について概要を述べた後、高分子科学的な観点からの、糸づくりの基礎・繊維の性質の基礎についても言及します。さらに、再生繊維と合成繊維について、製造法の基礎と開発経緯、さらには、技術的工夫による高性能・高機能化につき、古典的なものから最先端技術までを、現場技術の観点から平易に解説します。

繊維の製造に関わる科学者・技術者ばかりでなく、普段さまざまな繊維を扱う方々にとっても、その製法の概要を理解しておくことは、繊維の性質を深く理解することに繋がるため極めて重要です。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 2019年7月26日(金) 10.00~17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

- (1) 化学繊維概論 (10.00~11.10)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・繊維の分類 (天然繊維・化学繊維)
 - ・化学繊維の分類 (再生繊維・半合成繊維・合成繊維・無機繊維)
 - ・化学繊維の基本的な性質と化学構造の関係 (熱特性, 力学特性)
 - ・糸の, 太さ, 強さなどの表記法
 - ・糸の種類 (フィラメント, ステープル, 撚糸)
 - ・布帛構造 (織・編, 不織布)
- (2) 化学繊維の糸づくり概論 (11.20~12.30)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・化学繊維製造工程の概要 (原料から製品まで)
 - ・化学繊維のつくり方 (紡糸, 延伸, 熔融紡糸, 溶液紡糸 (湿式, 乾式, 半乾半湿式))
 - ・材料の性質と製造条件の違い (ポリエステルとポリプロピレン, 繊維構造形成)
 - ・さまざまな化学繊維製造技術 (スパンボンド, メルトブロー, フラッシュ紡糸, 電界紡糸等)
- (3) 再生繊維の糸づくり (13.30~15.00)

..... 元旭化成, 日本技術士センター理事 溝口 隆久

 - ・湿式紡糸の基礎と開発経緯
 - ・ビスコースレーヨンとキュプラの紡糸技術の違い
 - ・生産工程と製法・条件
 - ・生産性向上, 高機能化, 機能付与
- (4) 合成繊維の糸づくり (15.15~16.45)

..... 元東レ, 齋藤技術士事務所代表 齋藤 磯雄

 - ・熔融紡糸の基礎と開発経緯 (従来法, POY-DTY, 超高速熔融紡糸等)
 - ・さまざまな機能性繊維の糸づくり (異形断面, 中空, 異収縮混織, 細 De, モノフィラメント, 複合繊維, 極細繊維, 導電性, 共重合, カチオン可染, アルカリ減量等)
 - ・産業用繊維の製法と高性能化
- (5) 紡糸・延伸工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.55~17.55)

..... 元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所代表 中田 賢一

 - ・合成繊維 (主にポリエステル長繊維) 生産時の各種品質欠点と後工程への影響
 - ・品質欠点の発生要因と対策
 - ・生産工場での品質管理体制確立について

- 協賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合, 日本化学繊維協会
- 定員** 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 参加費** 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)
- 申込** テキスタイルカレッジ化学繊維の糸づくりと明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。
- 申込先** 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

新刊

内外の全繊維・全加工段階のデータ・資料を収録 2019 年版『繊維ハンドブック』

<B6 判 約 360 頁 (CD-ROM 付) 定価 (8,334 円 + 税 666 円) 送料当方負担 >

日本と世界の最新の繊維データバンクとして定評のある『繊維ハンドブック』の「2019 年版」が、このほど発刊された。1959 年の初版から数えると、55 回目の刊行に当たり、毎回、細部にわたる見直しと増補が行われてきた。日本と主要国の繊維原料から素材、テキスタイル、アパレル、流通、消費に至るまでの全繊維、全加工段階の最新のデータ・資料が系統立てて収録されており、文字どおり“繊維のことなら何でも分かる”ハンドブックとなっている。

「国内統計編」「国際統計編」「資料編」の 3 部構成で、全体を通じて既刊内容との継続性に細かい配慮が払われている。さらに、「国内統計編」「国際統計編」は Excel 形式で「資料編」は PDF 形式で、全てのデータを CD-ROM に収録して、使いやすさの便を図っている。繊維業界に携わっている人にはもちろん、繊維を研究、あるいは繊維に関心を持っている人にとっても活用範囲は誠に広い。

お問い合わせ・お申込みは、日本化学繊維協会まで。

東京 / 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-11 (繊維会館)
TEL (03) 3241-2313 FAX (03) 3246-0823
<http://www.jcfa.gr.jp>

なお、日本国外からの購入申込みについては丸善雄松堂にお問い合わせ下さい。

Maruzen-Yushodo Co., Ltd.
Export Department
phone : 81-3-4335-9316 fax : 81-3-4335-9368
E-mail : export@maruzen.co.jp

繊維ハンドブック
2019

日本化学繊維協会

テキスタイルカレッジ

「不織布」

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに物性と用途などについて，系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数の受講をお待ちしています。

期 日 2019年9月3日(火) 9.30~17.40

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

- (1) 不織布概論・短繊維不織布技術－乾式不織布（9.30~10.40）
 東レ(株) 不織布技術部 主任部員 小出 現
 - ①日本の不織布の歴史について
 - ②不織布の分類・製法，使用繊維について
 - ③乾式不織布の製法，特許，後加工について
 - ④乾式不織布の特徴・物性と用途について
- (2) 短繊維不織布技術－湿式不織布（10.50~12.00）
 特種東海製紙(株)研究開発センター 市場開発部 部長 服部 景
 - ①湿式不織布の歴史，概要について
 - ②湿式不織布の製法，特許，使用原料について
 - ③湿式不織布の特徴・物性と用途について
- (3) ナノファイバー不織布の作製と実用（13.00~14.10）
 ナノファイバー研究会委員長，大阪成蹊短期大学 山下 義裕
 - ①ナノファイバーの歴史と特許について
 - ②ナノファイバーの製法について（エレクトロスピンングパルプの微細化など）
 - ③ナノファイバーの特徴と用途開発について
- (4) 長繊維不織布技術－スパンボンド（14.20~15.30）
 東洋紡(株) 不織布拡大戦略部 部長 田中 茂樹
 - ①スパンボンドの歴史と概要について
 - ②スパンボンドの特許，製法，使用原料について
 - ③スパンボンドの特徴・物性と用途について
- (5) 長繊維不織布技術－メルトブロー（15.40~16.50）
 高知県立紙産業技術センター 素材開発課長 鈴木 慎司
 - ①メルトブローの歴史と概要について
 - ②メルトブローの特許，製法，使用原料について
 - ③メルトブローの特徴・物性と用途について
- (6) 不織布の物性測定について（17.00~17.40）
 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理
 - ①不織布の性質・機能と試験方法について
 - ②不織布の製品の評価方法について

協 賛 大阪染色協会，関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円，協賛学協会員15,000円，非会員23,000円，学生会員3,000円，学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ不織布」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

第 47 回繊維工学研究討論会

The 47th Textile Research Symposium 2019



第 47 回繊維工学研究討論会 (TRS2019) は、チェコ共和国リベツ市のリベツ工科大学で、2019 年 6 月 17 日 (月) ~ 19 日 (水) に開催されます。

繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) は、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために 1972 年に始まり、Mt.Fuji Conference の愛称で親しまれ 47 回目を迎えます。今日では、ファイバーサイエンスからアパレルエンジニアリングまで幅広い分野の繊維研究に関する国際会議になっています。参加者は著名な繊維研究者です。世界各地から 60 ~ 100 名が集い、30 ~ 40 の論文 (口頭とポスター) が討論されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 2019 年 6 月 17 日 (水) ~ 19 日 (水)

会 場 チェコ共和国リベツ工科大学 (Technical University of Liberec)

Univerzitetni namesti 1410/1, Liberec 1 - Stare mesto

主 催 リベツ工科大学繊維機械学科ならびに一般社団法人日本繊維機械学会

協 力 日本繊維機械学会テキスタイル科学研究会

トピックス

Fiber Science and Engineering
 Science and Technology of Textile Machinery
 Science and Technology of Textile Processing
 Dyeing and Finishing
 Nano Fibers and Smart Textiles
 Composite and Industrial Textiles
 Design, Comfort, Quality of Textiles and Sense Evaluation
 Apparel Science and Production Technology
 Environment and Sustainability
 Biomedicals

発表・参加申込

下記ホームページから直接お申込みください (日本繊維機械学会では受け付けできません)。

<http://trs2019.ft.tul.cz/Home/home.html>

参加登録費 Regular participant : 200 € (Before 30th April 2019), 250 € (After 30th April 2019)
 Student : 100 € (Before 30th April 2019), 150 € (After 30th April 2019)
 Accompanying person : 50 € (Before 30th April 2019), 100 € (After 30th April 2019)

講演会「国際繊維機械見本市ITMA2019(バルセロナ) 視察報告」

国際繊維機械見本市 ITMA2019 が 2019 年 6 月 20 日～26 日の 7 日間、スペインのバルセロナで開催されます。ご高尚の通り ITMA は 4 年に 1 回ヨーロッパで開催される世界最大規模の国際繊維機械見本市です。世界の繊維機械メーカーはこの見本市を目標に技術開発、製品開発を目指しており、この見本市に一斉にその成果が披露され、まさに繊維機械のオリンピックと呼ぶに相応しい技術交流の場です。2015 年に開催されました ITMA2015 (ミラノ) は、出展社数 1,691 社 (46 カ国)、来場者数は約 12 万人 (147 カ国) でした。

今回は ITMA2019 に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説いただきます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会です。関係各位多数のご参加をお待ちしています。

期 日 2019 年 10 月 4 日(金)

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 次号をご参照ください。

第26回秋季セミナー

期 日 2019 年 11 月 14 日(木), 15 日(金)

会 場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内 容 プログラムが決定次第会告掲載いたします。

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	高橋 正志 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

関東支部 繊維系研究機関ミニ国際シンポジウム2019 講演会・見学会のご案内

日本繊維機械学会・繊維学会の運営にご尽力され、繊維生産技術の発展に貢献されてきました鞠谷雄士先生をお迎えし、関係者とともに講演会・見学会を開催する運びとなりましたので、下記の通りご案内申し上げます。なお、本行事へは関東地域にこだわることなく、また、非学会員でもご参加いただけます。

期 日 2019年4月25日(木)、26日(金)

会 場 講演会：東京都立産業技術研究センター本部東京イノベーション・ハブ（東京都江東区青海2-4-10）
ゆりかもめテレコムセンター駅下車、徒歩直ぐ、りんかい線東京テレポート駅より徒歩15分。送迎バス利用3分（ただし朝夕のみ）。

見学会：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）

内 容

4月25日(木) 第一部：講演会

13.00～13.40

講演 (1) 「3D プリンターでバイオリン、その設計と製作」

..... 東京都立産業技術研究センター 3D ものづくりセクター 横山幸雄

13.40～14.20

講演 (2) 「花王のシート製品を支える繊維・不織布技術」

..... 花王(株) 包装容器開発研究所 金田 学

14.20～15.10

ポスター発表／コーヒープレイク

15.10～15.50

講演 (3) 「Development of High-strength Polyester Fibers via Novel Control of Flow Behavior In Melt Spinning Process」

..... Technical Textile R&D Group, Korea Institute of Industrial Technology (KITECH) HAHM Wan-Gyu

15.50～16.50

講演 (4) 「高速紡糸による繊維形成とポリマー特性の関係」

..... 東京工業大学 物質理工学院材料系 鞠谷雄士

懇親会（講演会終了後、鞠谷先生を囲んで懇親会を開催します。参加費 6,000 円（予定））

4月26日(金) 第二部：見学会

見学先：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）

集合場所：博物館・百周年記念館 1F ロビー

13.00～14.30 博物館・百周年記念館

14.30～16.00 鞠谷研究室 紡糸設備の見学

定 員 講演会 100 名、見学会 20 名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

参加費 無料、懇親会有料 6,000 円（予定）

問合せ・参加申込先

可能な限り E-mail でお願いします。

群馬大学 理工学部 環境創生部門 河原 豊

〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

TEL：0277-30-1491, FAX：0277-30-1412, kawahara@gunma-u.ac.jp

お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ (http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合があります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。最新情報や開催行事報告等をお伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね！」をお願いします。

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

ジャーナル編集委員会

委員長	保田 和則 (愛媛大学)	
副委員長	金井 博幸 (信州大学)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
	向井 康人 (名古屋大学)	
編集委員	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)	植松 英之 (福井大学)
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	坂口 明男 (信州大学)
	廣垣 和正 (福井大学)	松岡 敏生 (三重県工業研究所)
	安永 秀計 (京都芸繊維大学)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)
	與倉 弘子 (滋賀大学)	横山 敦士 (京都芸繊維大学)

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員長	武内 俊次（京都工芸繊維大学）		
委員	中西 康雅（三重大学）	保田 和則（愛媛大学）	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）
	横山 敦士（京都工芸繊維大学）	若子 倫菜（金沢大学）	

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	臼谷喜世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）
	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）
	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱代表取締役社長）	

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

	申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名	生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒	
勤務先名称		
役職および 所属部課名		
電話		
E-mail		
自宅住所	〒	
連絡事項		
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引	
承認期日 (事務局記入)	年 月 日	印